

主体的に考える児童の育成
— 国語科における協働的な学習を通して —

4年生の研究授業より

「ヤドカリとイソギンチャク」の単元で、自分の考えの根拠を共有する授業を行いました。大変忙しい時期に貴重な授業を提供していただいた村上先生に感謝です。

今回の検討会の内容から、4年生の授業で共通理解したいところは以下の点です。

- 協働的な学習は、グループやペア学習だけでなく、一斉指導の形式でも工夫して進めることができる。
- 自分の変容を見取るためのワークシートの形式。
(自分の意見→友達のパ箋→それを見て再考した自分の意見)

今後の研究授業の中に、意識的に取り入れましょう！！



遠藤先生の指導助言より

今後の参考になりそうなところを載せてみます。

協働的な学習はお互いに学び合う学習だが・・・



どんな力を国語で付けさせたいのか？を明確に！！



今回の例：段落と段落の論の展開について考えさせる！！



そのための主発問の工夫
今回の例：三つ目の問いかけは必要か必要でないか？
→論の展開を意識して話し合いができる発問